

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 7, No. 1 神奈川県立 生命の星・地球博物館 Mar., 2001



愛川町で発見された イトアメンボ

Hydrometra albolineata (Scott)

(体長11—14mm程度)

愛川町尾山、2000年9月

高桑正敏撮影

高桑正敏(学芸員)

水環境にすむカメムシ類の1種、イトアメンボは環境庁が昨年4月に発表した昆虫のレッドリスト改訂版の中で、絶滅危惧Ⅱ類に挙げられました。かつては、関東地方以西にふつうに生息していたと考えられていましたが、いつの間にか、関東はおろか本州でもほとんど記録がない状態になっていたのです。

それがなんと昨年、自然の水環境では都道府県の中では最悪との呼び声の高い神奈川県で生息が確認されたのです。もちろん、東日本では唯一の

確実な産地です。場所は愛川町の八菅山と中津川に挟まれた尾山耕地。

ところが大問題がありました。この耕地の中央に立派な町道が計画されていたのです。イトアメンボは再発見された時点で、絶滅に直面してしまったのです。けれども、関係者の努力によって道路は迂回される見通しです。生物多様性保全を尊重する波は、確実に地域にも浸透しつつあります。愛川町はその英断によって全国から賞賛されることでしょう。